

第50回衆議院総選挙闘争勝利特別決議（案）

私たちは今日ここに社会民主党広島県連合第31回定期大会を開催しました。

今年1月1日、能登半島地震につづく羽田・航空機事故と、大きな事態で幕開けの2024年でした。4月には伊方原発に近い豊後水道でも大地震が発生、地震大国日本での原発の危険性が明らかにもかかわらず、岸田政権は原発回帰をすすめて、中国電力島根原発2号機の再稼働、上関原発の建設、放射性廃棄物中間貯蔵施設の建設を進めています。

また、インフレで実質賃金は23ヵ月低下をつづけ、物価高が直撃し、多くの国民は生活に悲鳴をあげています。国民のいのちと暮らしを守るべき政治は、自民党の裏金問題で国民の信頼を失い、腐朽の極みであり、国民の怒りはとどまるどころがありません。

平和憲法を実質破壊する「安保3文書」改定で軍拡・増税、「戦争のできる国」から「戦争する国」への態勢を強めています。ミサイル基地反対の映画「戦雲・いくさふむ」のなかで、沖縄の人たちが基地関係者に向かって、「平和の道を閉ざしているのは、あんたたちだ」、という厳しい声を向けています。

今、平和憲法「改憲」の大きな岐路に立たされています。末期的症状を見せる岸田自民政治を終わらせるために社民党は、選挙区での共闘に全力をあげるとともに共闘の要として、中国ブロックとしての議席を実現しなければなりません。

中国ブロック比例区でたたかう決意をされた、「宮本てるお」さんに敬意を表するとともに、私たち広島県連合は全力でともに闘うことを決意しています。2024年2025年自治体選挙闘争と併せ、かつての「合流」問題を乗り越えて、社会民主党の前進をかちとりましょう。右決議します。

2024年6月9日

社民党広島県連合第31回定期大会